

大平洋金属は 持続可能な社会の実現に向けて 技術力と社員力で環境問題の解決に貢献します

大平洋金属株式会社 経営方針

1. 当社グループ全体の経営戦略を一体化して、グループ各社のシナジー効果を最大限に発揮すること。
2. 世界に誇る製錬技術の開発と品質向上に全力を傾注し、経営の効率化と競争力で世界有数の基盤を確立すること。
3. コンプライアンスを推進すること。
4. 公正・透明・自由な競争を通して、適正な利益を確保すること。
5. かけがえのない地球を守るため、あらゆる環境問題に積極的に取り組むこと。
6. 社員の個性を伸ばし創造性を十分に発揮させるとともに、物心両面のゆとりと豊かさを追求し、生きがいのある職場を実現すること。
7. 広く社会との交流を進め公正な企業情報を積極的に開示すること。

品質・環境・労働安全衛生方針（IMS* 方針）

わたしたちは、環境との調和に配慮したフェロニッケル及びスラグ製品の生産を通じ、地域社会への安心とお客様への信頼、満足を供給するために、品質・環境・労働安全衛生のマネジメントシステムに関する活動方針をここに定め、全ての利害関係者の信頼に応えられるよう全社一丸となって取り組んで参ります。

1. 創意工夫と技術力を生かし、お客様のニーズに応える質の高い製品を安定して提供します。（品質方針）
2. 省エネルギー、省資源、リサイクルに努め、環境負荷の低減及び汚染の予防に努めます。（環境方針）
3. 職場リスクの徹底した低減及び、快適な作業環境と社員の健康づくりでゼロ災害を目指します。（労働安全衛生方針）
4. 国内や海外の関係する法律、規制及び当社が同意する要求事項を遵守します。（共通方針）
5. 品質・環境・労働安全衛生マネジメントシステムの重要性を、当社の為に働く全ての人々に認識してもらえよう、コミュニケーションの推進、教育訓練を推進します。（共通方針）

この方針は、当社の全社員及び協力会社社員へ周知すると共に、一般に公開し、方針の実現のために品質・環境・労働安全衛生マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。

*IMS：Integrated Management System（統合マネジメントシステム）

2013年3月13日
大平洋金属株式会社

代表取締役社長

東 洋 幸

2013年5月に三陸復興国立公園に指定された種差海岸

目次

Pacific Metals Environmental Report 2013



3	トップメッセージ	15	大平洋金属の環境マネジメント
5	持続可能な社会の実現を目指して	20	環境目的・目標と達成状況
7	環境に配慮した製造プロセス （フェロニッケル製造事業）	21	地球温暖化抑制及び 省エネルギーの取り組み
9	環境に貢献するサービス （廃棄物リサイクル事業）	23	大気汚染防止のための取り組み
10	環境負荷の少ないエコ製品 （循環型社会に貢献するスラグ製品）	25	水質汚濁防止のための取り組み
11	TOPICS1 LCAによるスラグ製品の CO ₂ 見える化	27	循環型社会形成に向けた取り組み
13	TOPICS2 化学物質としてのニッケル 化合物対策	29	環境コミュニケーション
		31	労働安全衛生に対する取り組み
		35	第三者意見
		36	第三者意見を受けて／会社概要
		37	大平洋金属の環境活動の歩み
		38	ガイドライン対照表



環境報告書 2013 の編集にあたって

編集方針

本報告書は、大平洋金属株式会社の事業活動とそこから生じる環境負荷及び低減対策、労働安全衛生の取り組みについて、ステークホルダーの皆様に分かりやすくお伝えすることを目標としています。

報告対象範囲

大平洋金属株式会社（国内事業所）

報告期間

2012年度（2012年4月1日～2013年3月31日）

※活動内容については一部2012年度以前の内容や、2012年度以降の予定を含みます。

発行月

2013年10月

参考ガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン（2012年版）」

GRI「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン」

公開媒体

冊子

当社 Web サイト

URL <http://www.pacific-metals.co.jp/environment/report.php>

※冊子版と Web 掲載 PDF 版の報告範囲は同じです。

免責事項

本報告書に掲載した内容は、過去の事実だけでなく、記述時点で入手できた情報に基づく予定や見通しを含んでいます。そのため、将来の活動内容や結果が掲載内容と異なったものとなる可能性があることをご了承ください。